



2020年1月1日 (第52号-B)

けた。 る。これ、もう、意地以外の何ものでもない。 がや、やっている。地域「連携」と銘打つが酒飲みの集 れを癒す。「酒無くて何が己が人生ぞ」。職場でも「ぐ まりに違いない。 前にも増して忙しくなった。どれもが中途半端。い をこねたり山歩きもしたい。同窓会の事務も引き受 半日だけ認知症クリニックに勤めるようにもなる。以 断れなかったのだ。その法人には以前から引かれるも た。▼しかし、それは許されなかった。新しく創設さ も何かに追われているような生活が続く。| 前から受任している「後見」業務が重なる。〈ケア〉に のがあった。ここに週二~三日通う。▼さらに、週に れるケアマネ事業所を手伝ってほしいとな 勤務していたケアマネ事業所を退職した。少しゆっく 真備を大水害が襲った一昨年の末に、僕は、それまで いまび」なる会ができて、地域の人達とわいわい・がや ついて学ぶ会も続ける。尺八も吹けば、たまには粘土 して自分を見つめる時間を持ちたい気持ちがあっ 何があっても欠かさないのが「酒」。毎晩これで疲 ▼何のことはない。ゆっくりするどころか、以 ▼そうそう。〈道〉通信も続いて の申し出を ▼その中

〒710-1301

岡山県倉敷市真備町箭田 5188

TEL. 090-5366-1497

MAIL michi-care@outlook.jp
H.P. https://michi-care.jimdo.com/

林道也

